

英語力向上に向けて、MEXCBTを使ってみました！ 山梨県ver.



山梨県での活用はこれだ！

【MEXCBT活用場面】



① イラストについて T-Sインタラクション



② 個々で 解答を吹き込む (書き込む)

③ サンプルアンサーを確認



生徒の声・反応

- どんなときでも「相手の状況などを考えて伝える」ということを意識するようになった。
- 自分が今どれくらいの英語が書けるか、話せるか知ることができ、自分の英語をブラッシュアップしたいと思った。
- 時間制限があるので、最初は焦ったけど、その場で考えて話せるようになりたい、と思うようになった。
- サンプルアンサーに解説がついているので、今までより、主語や動詞、前置詞などに気を付けるようになったし、気が付けることも増えた気がする。



教師の声・反応

- ただイラストの説明を生徒と考えるのではなく、やり取りを通して、絵や写真から想像できる「場面・状況」を考えることで、生徒の発話内容が充実していった。
- パフォーマンステストでの場面設定や状況を意識して取り組む生徒が増えた。
- 時間制限が即興性を意識させるきっかけにもなった。
- 振り返りの視点やサンプルアンサー以外の解答例の提示に苦労したが、自己調整力の向上につながる教材として活用できる。



教育委員会・学校で行った工夫が効いた！

そもそも、MEXCBTの使い方がわからない・・・配信の仕方、問題の選び方等

「話すこと」「書くこと」は自動採点されない・・・振り返りや評価はどうすればよい？

言語活動にどうつなげればいいのか・・・

■ 場面や状況を捉え、即興で話す力の向上を目指す取組 「話すこと」(1_1・1_2)

帯活動における指導の流れ

- ① イラストについてT-Sインタラクション
 - 学級全体で、イラストからわかることや想像できることについてやり取りする。
 - 生徒とやり取りをしながら、考えや表現を引き出したり、正確性に気付くよう促したりする。
 - ② 個々で解答を吹き込む(書き込む)
 - 質問の主となる解答だけでなく、①でやり取りをしたことを基に、より詳しく話す(書く)ことを促す。
 - 問題によっては、イラストの説明だけでなく、自分の考えを加えることも可能であることを伝える。
 - ③ サンプルアンサーを確認
 - 自分の解答と比較し、気付きを促し、自己評価させる。
 - その他の解答や付け足した情報について、共有する。
- ※家庭学習でも同じ問題に取り組み、定着、改善を図る。

• オンラインでの研修会で、問題の配信方法や、文科省提供問題の紹介。外部試験スコア等との紐づけや、帯活動での活用方法を提案。

• サンプルアンサーを振り返りの視点とするよう指導・助言。
• 学習支援ツールで自己評価、進捗、振り返り等を共有。
• 生成AI等を活用した添削の仕方を提案。

• 使うことが目的ではなく、生徒の実態、単元の言語材料や題材等に応じて、練習に用いたり、パフォーマンステストに用いたりする言語活動の充実に向けた手段として提案。

英語力向上に向けて、MEXCBTを使ってみました！ 山梨県ver.

別添資料① 帯活動としての活用例（抜粋）

…山梨県教育委員会作成

「話すこと」1_1・1_2 の活用例を提案

帯活動として 活用例



- ◆ 質問について、まずは生徒自身に考えさせましょう。
- ◆ 生徒とやり取りをしながら、考えや表現を引き出したり、正確さに気づくよう促したりしましょう。
- ◆ 文発話（文構造）の意識につなげましょう。



Day 1

What is the person doing?

Talking

Girl and man and woman

Yes, **they are** talking.

Are they in a same place?

She is talking with ... by ...

They use phone.

They are talking **on the** phone.

Anything else?

I think the man and woman are her grandparents.

The girl use a smartphone.

Yeah, it's possible.

Nice idea. The girl **uses her** smartphone.

Now, let's record your answer. You don't have to answer only one sentence. You can say as many sentence as you can.

They are talking on the phone.

The girl is talking with her grandparents.

The girl look happy.

帯活動として 活用例



- ◆ 既得の知識・技能と関連付けて指導しましょう。
- ◆ 特に言語面の中間指導を意識して行い、正確性を高めましょう。



Day 2

What is the boy doing?

He writing ...

picture

He has a paintbrush. So, ...

He is painting.

He has three brush.

What's 絵の具 in English?

Good. He is painting with his **brushes**.

You can say "paints."

Let's record!

Day 3



継続は力なり！絵を見たら、説明したくなる！自然と英語で説明するクセがつかも！

What is the person holding?

ホールド？

What is "holding"?

I'm holding a book in my hand.

So... he is holding a pencil.

He is painting a whale.

You know the word "whale." Nice! When we use a pencil, we say "write" or "draw."

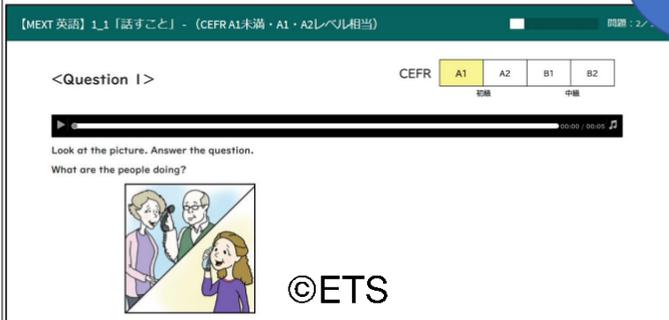
英語力向上に向けて、MEXCBTを使ってみました！ 山梨県ver.

別添資料① 帯活動としての活用例（抜粋）

…山梨県教育委員会作成

「話すこと」1_1・1_2 の活用例を提案

帯活動として 活用例



2nd Round



What is the girl doing?

By Phone

She talking

Yes, she is talking on the phone.

She is talking with

Grandpa and grandma.

Nice idea. She is talking with her grandparents.

Now, let's record your answer.

◆ 2週目はQuestionを変えてみたり、家庭学習で取り組ませたりして、繰り返し取り組める機会を設定しましょう。

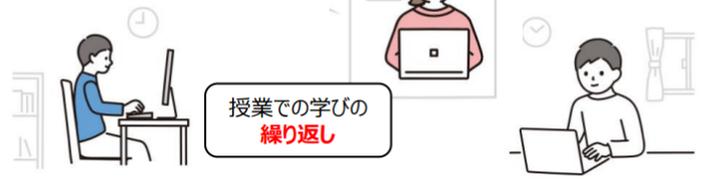
Homework

She is talking on her smartphone.

The girl is talking with her grandparents.

授業での学びの振り返り

授業での学びの振り返り



単元の言語活動につなげる

単元内の活動との連携・身に付けさせたい力（場面や状況を捉える力、即興で伝える力）の強化

- パフォーマンステストに取り組む際に、課題の**場面設定**や、**伝える相手の状況等を捉えたり、推測**させたりする。
- 相手への配慮をルーブリック評価に記述し、「相手が～な状況だったら」「～かもしれない」など、より**相手に配慮**した内容になるよう思考・判断・表現させる。
- 相手意識**の向上につなげる。

パフォーマンステストで



教科書で



- 教科書題材の導入で、教科書内のイラストや写真から、場面・状況をT-SインタラクションやS-Sのペアトークで**やり取りを通して**、推測する活動。
- 推測したことを、本文内容から確かめたり、本文を読んでわかることから、情報を付け加えて説明したり、やり取りをする。

別添資料② 「話すこと」(1_1、1_2)の問題を扱った単元指導計画例

■ 学年・単元名・領域：

中学2年生 Unit 4 Homestay in the United States 「話すこと [発表]」

■ 単元末のパフォーマンス課題：

ALTは自分の娘さん将来ホームステイをさせたいと思っています。ALTの娘さんが安心してホームステイをすることができるように、チェックリストを作成してアドバイス動画を送ろう。



相手の背景は？心配事は何だろう？どんな情報があれば安心する？

○ 帯活動 ● 主な言語活動

1	<p>○MEXCBT問題 話すこと1_1(Question1)</p> <p>●教科書本文全体の概要を、イラストや写真などをヒントに、教師とのやり取りを通して捉える。</p>
2	<p>○MEXCBT問題 話すこと1_1(Question2・3)</p> <p>●教科書の表現を引用しながら、アドバイスを読んでわかったことを伝え合う。</p>
3	<p>○MEXCBT問題 話すこと1_1(Question4・5)</p> <p>●教科書の表現を引用しながら、日本のhouse rulesについて伝え合う。</p>
4	<p>○Small Talk “Do you want to do a homestay?”</p> <p>●教科書本文を読んで、登場人物の悩みについて、アドバイスを考え伝え合う。</p>
5	<p>○Small Talk “Are there any school rules?”</p> <p>●教科書の表現を引用しながら、日本にホームステイに来る人へのアドバイスを考え伝え合う。</p>
6	<p>○Small Talk “Are there any house rules?”</p> <p>●教科書の登場人物のホームステイ体験を読んで、学んだことや感じたことを伝え合う。</p>
7	<p>○Small Talk “What is important in a homestay?”</p> <p>●パフォーマンス課題に取り組む。</p>
8	<p>●チェックリストとアドバイスを、クラスで共有し、友だちと読み合い、相互にコメントし合う。</p>

帯活動における指導の流れ

①イラストについてT-Sインタラクション	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストからわかることや想像できることについて、やり取りをしながら、表現を生徒から引き出す。 ・T-Sだけでなく、S-Sでも取り組ませる。
②個々で解答を吹き込む	<ul style="list-style-type: none"> ・やり取りしたことをもとに、解答する。 ・+ 1文や、自分の考えを加えて解答する。
③サンプルアンサーを確認	<ul style="list-style-type: none"> ・サンプルアンサーと自分の解答と比較する。 ・その他の解答や、生徒からの気づきを全体で共有する。

☆教科書題材、本文の導入時にも、イラスト等からわかることをやり取りして、推測したり、場面や状況を捉えて表現する活動に取り組む。